

ぷよぷよたまごのかんさつ（低学年）

○年○組 ○○○○

<はじめに>

としょかんで、たまごを「す」につけるじっけんをしていた。かんたんでおもしろそうだったので、やってみようと思った。

<よういしたもの>

たまご す どうめいのコップ

<どうやってしらべたか>

- ①どうめいのコップにたまごをいれる
- ②たまごがぜんぶつかくらいまで「す」をいれる
- ③「す」を入れて、たまごのようすをかんさつする。
- ④にちじ・たまごのようすをきろくする。

<かんさつ>

1日目

じっけん かいし			「す」をいれて、しばらくすると たまごからぷくぷくとちいさい 「あわ」がでてきた。 たまごがくるくるまわりはじめ た。
1じかんご			たまごのまわりに、おおきな「あ わ」が、どんどんでてきた。 コップのうえからみると、白いも のがういている。
5じかんご			「あわ」が、どんどんでてきた。 「あわ」のおおきさはすこし ちいさくなったみたい。 コップのうえからみると、「白いあ わ」がもこもこしている。
6じかんご			「あわ」のおおきさがちいさくな ってきた。 コップのうえからみると、「白いあ わ」がいっぱい。

2日目

20時間後		たまごを「す」からだしてかんさつしてみた。 ちやいろいぶぶんが、すこしのこっている。まだ、さわると、からはかたかった。
20時間後		「す」をいれかえた。
21時間後		また、おおきな「あわ」がではじめ、たまごがまわりはじめた。

4日目

			
ざらざらしたたまごをこすると、つるつるしたぶぶんがみえた。	みずでながしながら、たまごのしろいぶぶんをこすった。	ぷよぷよたまごのできあがり。ゆびですこしつよくおさえても、われなかった。	もとのたまごと、おおきさをくらべると、すこしおおきくなったみたい。

<しらべたこと・わかったこと>

①たまごの「から」は、「す」につけるととける。

本でしらべると、たまごの「から」は「たんさんカルシウム」でできていて「す」は「たんさんカルシウム」をとかす。そして、たまごからでてくる「あわ」は、「にさんかたんそ」ということがわかった。

②たまごの「うすいまく」は「す」にとけない。

③たまごは、「す」につけると、おおきくなる。

本でしらべると、「す」の水が「うすいまく」のなかに入って、たまごがふくらむことがわかった。

<おもったこと>

できたぷよぷよたまごは、ゆびでつまんでも、われなかったのでびっくりした。

「す」につけると、たまごのからがとけた。「す」のじっけんを、もっといろいろしたいとおもった。

<さんこうにした本>

- ・「身近なものでできる自由研究かんたんじてん」 成美堂出版編集部／編 成美堂出版
- ・「すっぱいのひみつ」 赤野 裕文／著 金の星社